

種名	<h2 style="margin: 0;">ハシブトガラス</h2> <p style="margin: 0;"><u>Corvus macrorhynchos</u></p>												
													
分類	スズメ目カラス科												
特徴	市街地でゴミを漁る。おでことくちばしが段になった、くちばしの太いカラス類。ウスリーから東南アジアにかけての地方で繁殖し、日本でも全国に留鳥として数多く繁殖している。対馬と南西諸島のものは体が小さく、3亜種に分けられる。狩猟鳥。												
生活	ハシボソガラスとともに全国に広く分布するが、主な生息場所はやや違っており、林の続いている所にはハシブトガラス、木立の点在する農村部にはハシボソガラス、市街地や都市部にはハシブトガラスという棲み分けの傾向が見られる。市街地などでは人間の出すゴミを主要な餌にするほか、雑食性で動物の死体を好んで食べるほか、弱った獣や鳥を襲ったり、木の実を食べる。												
声	普通は「カーカーカー」と鳴くが、濁って「ガァーガァー」とも鳴く。また「アァァァァ」と鳴くこともある。そのほか「アハハ、アハハ」というような人の笑い声に似た声を出すこともある。												
見分け方	全身黒いカラス類で、くちばしは太く、おでことの境が段になる。												
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その他	全長(L) 57cm 翼開長(W) 105cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													